

伊藤 ゆきひろの ちょこっとタイム



後援会便り <No.30号> 2013年 8月1日発行

ごあいさつ

夏期の大型連休を控え、民族大移動のシーズンに乗り遅れまいと旅行誌を見たり、観光会社のチラシチェックに心浮き立つ毎日でしょう。

暑い日が続きますが、先の参議院選挙も熱い戦いの末、議席の大移動が行われネジレ状態が無くなりました。

多くの国民から支持を受けた政府は、これから更にその期待に応える責任が大きくなったと言えます。

雇用や社会保障、既に交渉参加入りしたTPP問題、来年4月に予定されている消費増税の判断等、産業や国民の暮らしに関わる重要課題が山積する中、国民が期待を寄せる三本目の矢。そのカギを握る成長戦略の実効について、私たちも今後の動向を注視していく責務があります。

刈谷市議会も8月臨時会で役職改選が行われます。また新たな役割と責任を担うこととなりますが、初心を忘れず挑戦し続けたいと思います。



刈谷市議会議員



刈谷市議会議員

【後援会事務所】

刈谷市一里山町金山100番地 (トヨタ車体労働組合内)	
Tel.	0566-36-3870
Fax.	0566-36-6272
E-mail	itou@bwcom.or.jp



歳時記

8月 1日 (木) 八朔	早朝の散歩の折り、心と夏を忘れる
6日 (火) 土用明け	ような涼しい風に出会う時があります。
7日 (水) 立秋	“今朝の秋”と言われるこの頃には、
15日 (木) お盆	朝夕微かな秋の訪れを感じ、去りゆく
終戦記念日	夏への愛着を感じる余裕も…
16日 (金) 京都五山送り火	有意義な夏休みの計画が、予定通り
23日 (金) 処暑	進められるよう願っております。

伊藤ゆきひろの ちょこっと情報 !!



刈谷 良いトコ ♪



まるでローマの浴場の水盤を思わせる形状が美しい噴水☆ 緑豊かな住宅地を背景に一服の涼を誘います。さて、ここはどこでしょう？

7/1発行の<No.29>の答えは、井ヶ谷町の洲原公園のデイキャンプ場でした。夏の鋭い陽射しを遮ってくれる滴る緑は美味しいバーベキューの後の午睡に最適！



“お盆”への招待 ☆

お盆という言葉の語源は、仏教の盂蘭盆という名を由来としていますが、お正月と並んで我が国最大の民族行事です。

“雛祭り”や“端午の節句”のように単一日程でなく、日本全国いくつもの行事が長い日程にわたり複合化した“巨大行事群”とも言えます。

お盆に戻る精霊達の盆路づくりのため 草を刈り掃除をし、盆灯籠を庭先に高く掲げたり、それを川に流す“灯籠流し”の風習もあります。

いずれも先祖の霊を大切に吊うもの、クライマックスは“送り盆”です。先祖や精霊の他に戻った招かれざる客“悪霊”に、いかにして“あの世”へ帰ってもらおうか？ 時代や地域ごとに様々な工夫を凝らしました。

その結果、京都五山送り火・隠岐の島の精霊船行事等、実に情緒豊かな美しい行事に彩られる 誇るべき民族文化を生み出しました。

送り火の後の静けさに ほっ…とため息をついた時、心とを感じる切なさ、一抹の淋しさは 逝く夏を惜しむ 想いでしょうか？

8月の行事予定

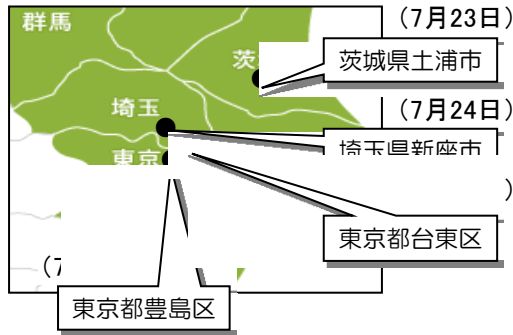
8月 8日 (木)	8月臨時会
9日 (金)	衣浦東部広域連合決算説明会
11日 (日)	～12(月) 地元盆踊り大会
17日 (土)	わんさか祭り花火大会
21日 (水)	議会運営委員会
22日 (木)	衣浦東部広域連合8月定例会
23日 (金)	議会基本条例検討特別委員会

“まじめに、コツコツ、即行動”
頑張ります!!



7月のフットワーク

市民クラブ会派による行政視察報告（7月23日～25日）



<市民クラブ会派>

山内智彦・沖野温志・黒川智明
 中嶋祥元・鈴木浩二・佐原充恭
 伊藤幸弘（7名）

<目的>

今回は「安全」と「観光」の二つのテーマについて、先進的な取り組みを行なっている都市を訪れ、その先進事例を現地でも学び、今後の刈谷市行政に活かすことを目的に視察して参りました。

【安全なまちづくり】

★土浦市の防犯ステーション「まちばん」設置事業

「まちばん」とは、まちが創った交番です。警察OBが常駐し、犯罪抑止と機動性のある防犯活動を目指した取組みで、地域の防犯交流の場としても活用されていた。警察OBを活用した取組みは非常に参考になった。



駅にある「まちばん」を視察

★豊島区の「セーフコミュニティ認証」事業



豊島区役所にて

セーフコミュニティとは、地域の安全と健康の質を高めていくまちづくりの活動。豊島区はその世界認証を24年11月に取得しました。（日本では5都市目）世界基準に照らし、安全で安心なまちづくりが認められ、区民の誇りと都市イメージがUPしました。理論的な手法で、まちの安心を追求していく活動は、対策の効果が的確で有効性が大きいと感じた。

【観光のまちづくり】

★新座市の「雑木林とせせらぎの観光まちづくり」事業



今ある自然資源・歴史文化資産・産業資源を活用し、点在する資源を線でつなぐフィールドミュージアムの形成を目指して市民と行政が協働して観光都市づくりを行っていた。



新座市観光案内所を視察

刈谷市も今あるあらゆる資源を線でつなぐ観光戦略が必要と感じた。

★台東区の「新観光ビジョン」事業

台東区の観光戦略は、観光客数やリピーター率・消費額等、評価指標と目標値が明確に示されたアクションプランとなっていた。



刈谷市も結果指標を明確にした取組みをすべきと感じた。

7/27 議員協議会主催の講演会に参加して参りました。

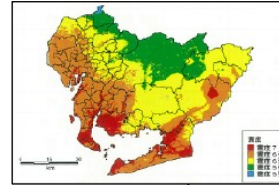
<講演テーマ> 「南海トラフ巨大地震被害予測と市町村に求められる対応」について



〔日・場所〕 7月27日（土）岡崎図書館交流プラザ

〔講師〕 愛知県災害局長 小林壮行氏

内閣府が平成24年8月に公表した南海トラフ巨大地震の被害想定手法に基づき、愛知県が算出した各市町の被害予測と今後の地震対策に向けた県が取り組むアクションプラン骨子についての講演でした。



大きさを示す
 マグニチュードは9.0
 の震度7～6強
 （大震災と同レベル）

愛知県が平成25年5月に試算した被害の最大ケース

被害予測	全壊・焼失棟数	死者数
愛知県	380,000棟 (16.5%)	23,000人 (0.3%)
刈谷市	9,000棟 (20.8%)	400人 (0.3%)

愛知県は、第3次地震対策アクションプランを平成25年度中を目処に策定し、防災・減災効果目標を明確にした対策を市町村と連携し進めていきます。

刈谷市も県の方針と並行し、被害予測の縮小目標を明確にした対策方針を早く打ち出し、効果的な減災推進を急ぐ必要があります。

★★★ 市政ピックアップ ★★★

■ 刈谷市“次世代タウンミーティング”が開催されました。



生徒が直接市長に提案
 （刈谷南中学校にて）

刈谷市の次世代を担う中学生が未来の刈谷市について、市長と直接意見交換しました。

テーマ「わたしの夢と未来の刈谷市」

第1回：7月4日（木）雁が音中学校体育館

第2回：7月5日（金）刈谷南中学校体育館

第3回：7月8日（月）朝日中学校体育館

自転車や歩道の安全対策・防災機能の強化・公共施設の利用・刈谷市の観光PR まちの環境美化・保育園の充実・学校給食の充実・買い物難民・障害者への対応 等 立派な提案がたくさん出され意見交換されました。

ちよとつと情報

☆ 刈谷市が防災ラジオを販売します ☆

いざっ！という時のためにいかがですか！

災害発生時に市から緊急情報がPitch-FM経由で伝えられます。
 （待機状態にしておけばスイッチOffでも自動で大音量で流れます）

〔対象者〕 刈谷市在住の個人（1世帯に1台）

〔価格〕 2,000円/台

〔個数〕 限定 500台（申込者多数の場合は抽選）

〔申込期限〕 ～8月30日（金）必着

〔申込方法〕 市民日より8月1日号をご覧ください。〔配布時期〕 9月末ころ

